

# パワースポット

ここだけの話ですがシリーズ

勘違いしてませんか  
人間が地球上で  
万物の霊長だと

私から言えば人間は  
破壊を繰り返す  
残酷な生き物としか  
思えません

だからそんなに  
遠くないうちに  
人間が自滅する日が  
きっと来るでしょう

たぐちえつお

## ★ 操作方法 ★

マンガのページの上でクリックすると次のページを表示します。右クリックすると前のページに戻ります。

※ Macintosh で、マウスに右クリックの設定をしていない方は、キーボードの「control」キーを押しながらマウスをクリックすると前のページに戻ります。

※ iPad の方は、上下スクロールでページを送ることができます。



それは  
周辺には珍しい  
大木だった

不思議なことに  
大木周辺だけが  
闇夜に包まれた



今日のコースは  
自宅から電車で  
一時間範囲の  
コースである



—と思っている  
私である  
私は秋田一夫  
六十一歳

定年後 月一回  
運動のため  
ハイキングに  
出かけている



驚くことに  
大木から光が  
漏れてきた



まるで  
この一帯だけ  
夜みたいだ  
……



歩いていると時々  
思いがけない  
出会いがある  
ことがある



と同時に  
もの悲しげな  
オカリナの音が  
聞こえてきた

それはまるで  
幻想の世界に  
一人ポツンと  
立っているかの  
ようだった



こりゃア  
すごい





精力復活

やだ、  
あなた  
どうしちゃっ  
たの!!

どうしちゃったの  
って聞かれても  
分からない...



心当たりが  
有るとすれば  
昨日ハイキングから  
帰って来てから

体全体が  
ポカポカに  
なったんだ

分かったから  
もう寝ましょう  
私クタクタに  
なっちゃった...

十年ぶり  
だから



アハハ  
そんなになるか  
たしかにご無沙汰  
してたな...

間違いない大木の光を  
浴びてから活力が  
よみがえった

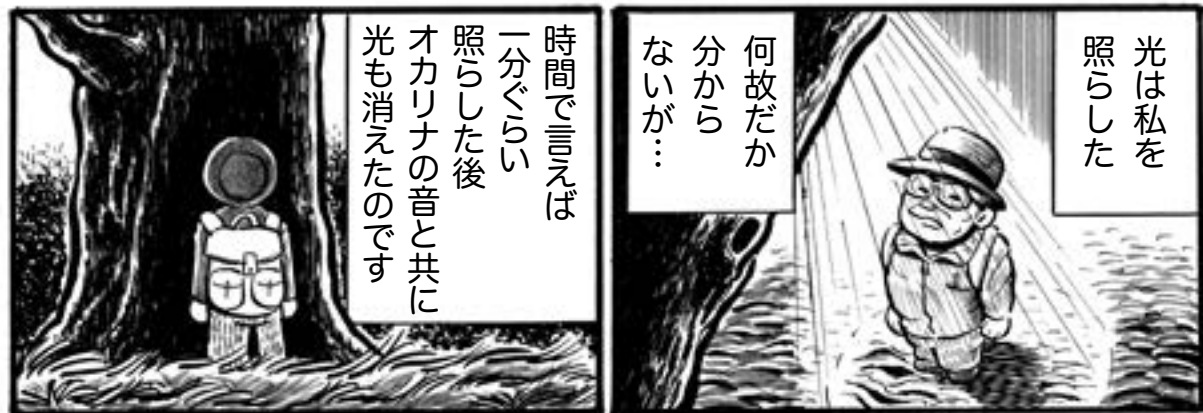
それに  
違いはない



もしかしたら  
あの大木は  
パワースポット  
かもな

おおそうだ  
明日また  
あの大木へ  
行ってみよう

もっと不思議なことが  
おきるかもしれない



光は私を  
照らした

何故だか  
分から  
ないが...

時間で言えば  
一分ぐらい  
照らした後  
オカリナの音と共に  
光も消えたのです



気が付くと  
元の昼間に  
戻ってました



なんと薄かった  
頭の毛が生えて  
きたり



夜中にトイレに  
起きず熟睡  
できるし



翌日から  
私の体に異変が  
起き始めたの  
でした



無かった  
昨日見た  
大木が忽然と  
消滅していたの  
でした

夢ではない  
昨日確かに  
ここにあった  
はずなのに…



確か大木は  
この場所の  
はずだが



それからは  
この大木が  
私だけの  
パワースポットに  
なったのです

なんと自宅前に  
あの大木がそびえ立って  
いたのです。それは  
私だけに見えるようで  
他の人には見えない  
ようなんです…



納得がいかない  
気持でこの地を  
去った



家につくと  
自分の目を  
疑った